

東芝パッケージエアコン用TCC-LINKアダプタ

取付説明書

室内ユニット専用

形 名 TCB-PCNT30TL

[工事業者様用]

このたびは東芝パッケージエアコン用別売部品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
取り付けの前に、この説明書をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。

もくじ

安全上のご注意	2
取り付け前に.....	3
配線接続方法.....	3
基板スイッチの設定.....	5
取り付け手順.....	6
4 方向天カセ筐体の場合	6
ビルトイン(1BH)、床サイド筐体の場合	7
ビルトイン(1BH以外)筐体の場合	8
1 方向天カセ、天吊り筐体の場合	9
1 方向天カセ、床スタンド筐体の場合	10
2 方向天カセ(1WH)筐体の場合	11
2 方向天カセ(1WH以外)筐体の場合	12
ダクト筐体の場合	13
アドレスの設定	14
アドレス重複時の警報コード	21
使用方法	22
その他注意事項	22

構成部品

名 称	個数	適 用
基板本体	1	TCC-LINK対応用PC板本体
中継端子台 (U3,U4)	1	中継用の 2 P 端子台 (U3,U4)
中継ケーブル (A)	1	TCC-LINKアダプタ基板とU3,U4中継端子台との接続用 (青色コネクタ)
中継ケーブル (B)	1	TCC-LINKアダプタ基板と室内制御基板との接続用 (赤色コネクタ)
取付説明書	1	本紙
スペーサ (A)	3	TCC-LINKアダプタ基板固定用 (室内ユニットの電気部品箱の板金上に基板を乗せるとき使用)
スペーサ (B)	1	TCC-LINKアダプタ基板固定用 (室内ユニット形態によって必要です)
端子台固定用ねじ	2	中継端子台固定用 (M4 × 14 0)
結束バンド	3	配線処理用
端子銘板	1	中継端子台近傍への貼付け用

安全上のご注意

取り付け工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。		△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。		



警告

取り付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する
ご自分で据え付け工事をされて不備があると、感電や火災の原因になります。

取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行う

取り付けに不備があると、感電や火災の原因になります。

再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼する

取り付けに不備があると、感電や火災の原因になります。

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および

この取付説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する

また、電圧は製品の定格電圧と合わせる

電源回路容量不足や施工に不備があると、感電や火災の原因になります。



注意

配線は、正しい電流容量の配線で工事する

漏電や発熱・火災の原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が
伝わらないようにする

断線したり、発熱・火災の原因になります。



基板本体に無理な力を加えない

折れ・はがれ・断線が発生し、発熱・火災の原因になります。



取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。

また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

取り付けの前に

本アダプタは室内基板メインMCU N0.9009-238 以降のものに対応しております。

上記以前のセットの場合、室内基板メインMCU の変更が必要になります。

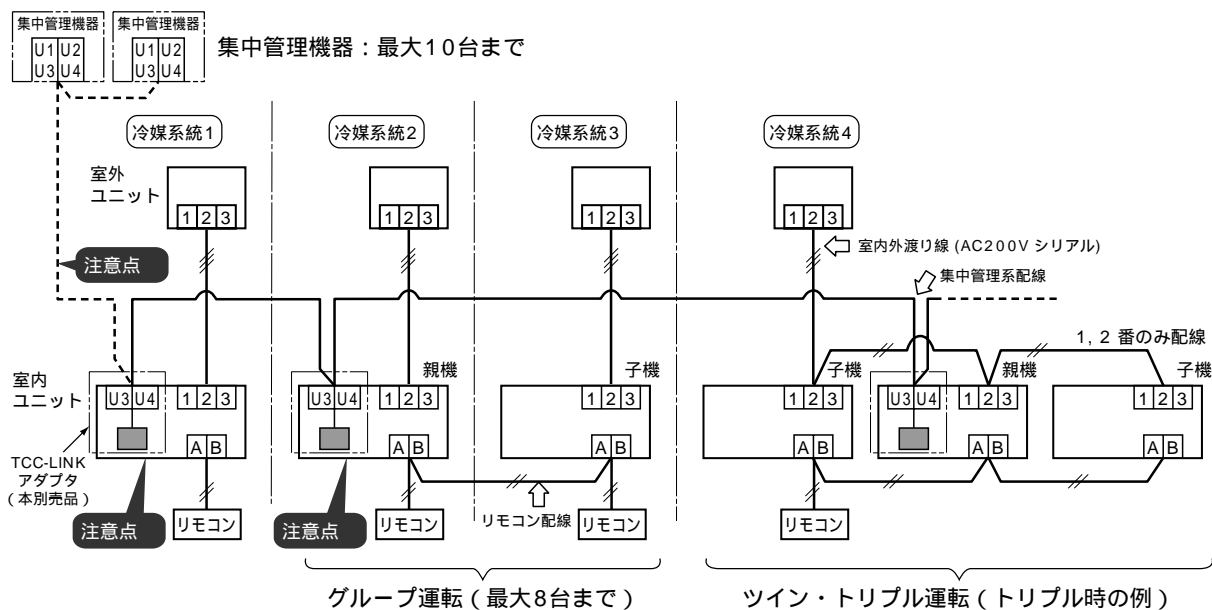
配線接続方法

1. TCC-LINK配線接続

注意
点

カスタムを集中管理する場合、TCC-LINKアダプタ（本オプション）が必要です。
グループ運転、ツイン・トリプル運転の場合、アダプタは室内ユニット親機への接続が必要です。
（子機への接続は不可）
集中管理機器は集中管理系配線に接続してください。
カスタムだけで集中管理する場合、システムアドレスNo.の一番小さい系統のみSW01のビット1をONにしてください。（工場出荷時はOFF）

カスタムの場合、自動アドレス後、ワイヤードリモコンからのアドレス再設定が必要です。



全冷媒系統の室内ユニット最大64台まで

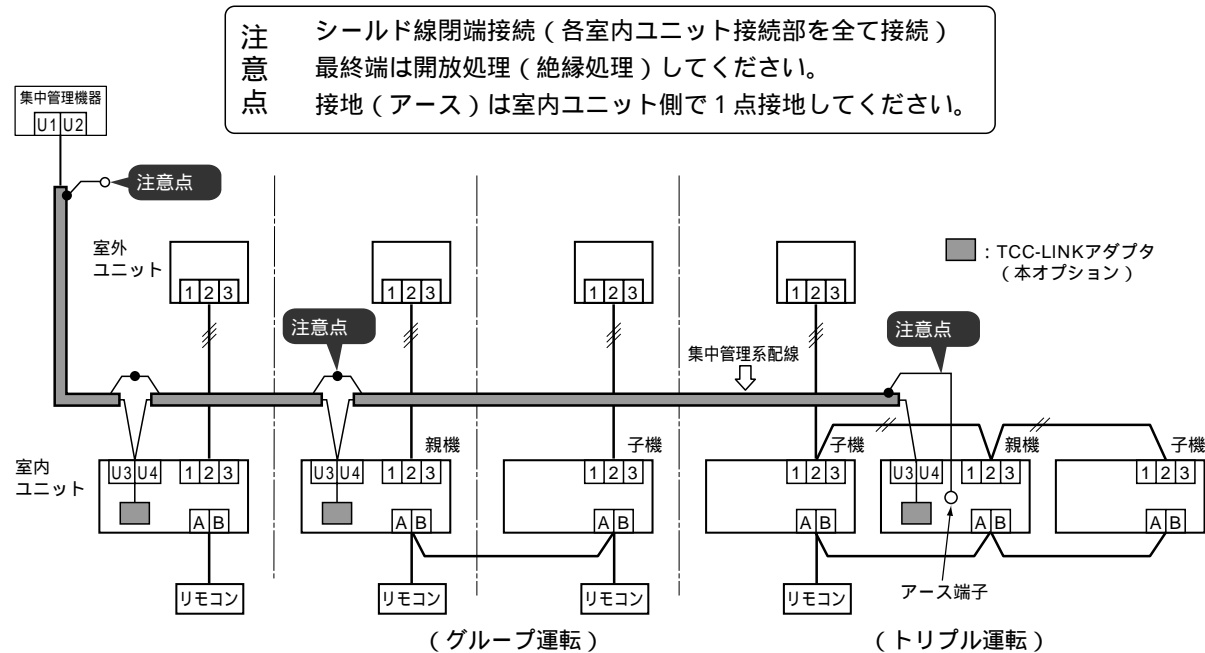
[マルチと混在（リンク配線）の場合、マルチ室内ユニットの台数も含みます]
ただし、カスタムのグループ子機、ツイン・トリプル子機は台数に含みません。

配線接続方法（つづき）

2. 配線仕様

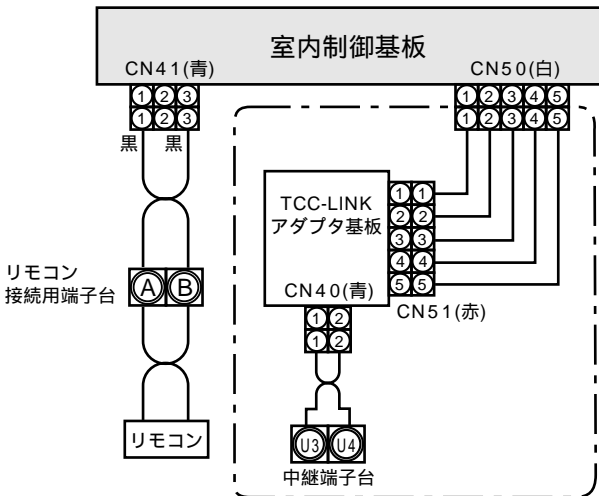
本数	サイズ	仕様
2	1000mまで ヨリ線1.25mm ² 2000mまで ヨリ線2.0mm ²	MVVS

配線は2芯無極性です。
長さは集中管理系配線の長さです。
マルチ混在システムの場合、マルチ側全ての室内外渡り線の長さも合わせた長さとなります。
ノイズ障害防止のため、2芯シールド線（MVVS）を使用してください。
シールド線を閉端接続継ぎとし、最終端は開放処理（絶縁処理）を行います。
また、接地（アース）は室内ユニット側で1点接地とします。（カスタムだけの集中管理時）



3. 室内制御基板との配線接続図

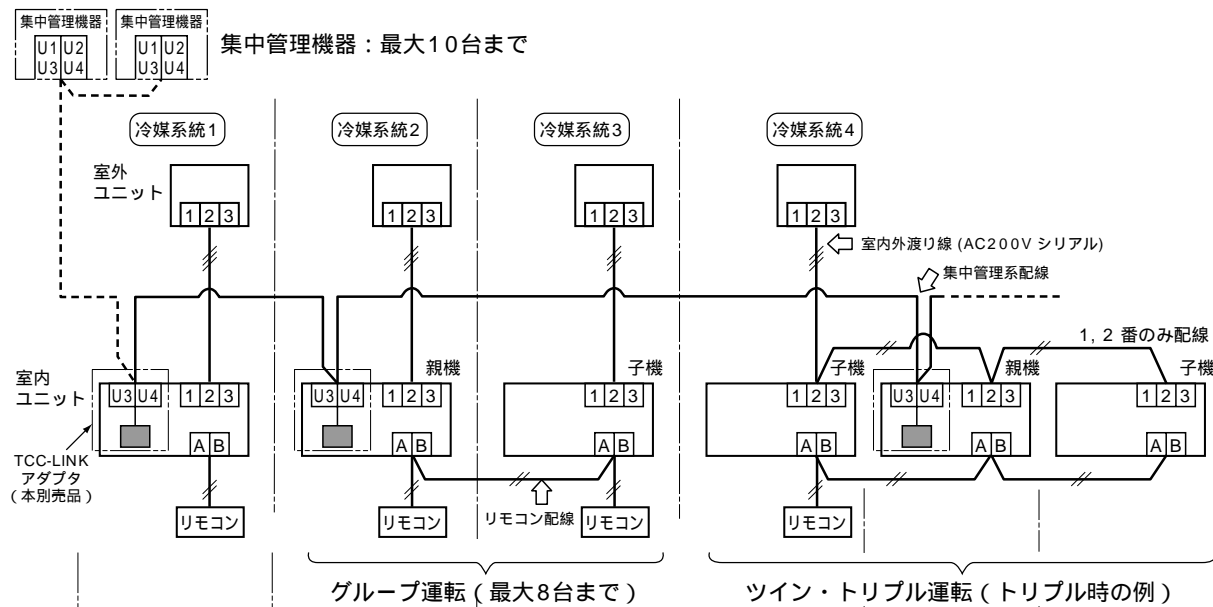
詳細は機種別の取り付け手順を参照ください。



一点鎖線内が本製品に付属されている部品です。
■は制御基板、□は端子板（中の文字は端子番号）を示します。
端子台U3,U4への配線接続には極性はありません。
(注) 誤ってU3,U4端子にAC100Vや200Vを印加した場合、ヒューズが溶断して保護します。
配線を修正した後、TCC-LINKアダプタ基板上のCN40 (青) への接続コネクタをCN44 (茶) に差し換えてください。

基板スイッチの設定

カスタムだけで集中管理を行う場合、終端抵抗の設定が必要です。
終端抵抗はSW01にて設定します。
終端抵抗は系統アドレスNo.が一番小さい系統の室内ユニットに接続されたアダプタのみ設定してください。



系統アドレス	1	2		4	
SW01ビット1	ON	OFF		OFF	(工場出荷時OFF)
SW01ビット2	OFF	OFF		OFF	(工場出荷時OFF)
備考	SW01ビット1をONする	工場出荷状態のまま		工場出荷状態のまま	

(参考) スイッチの設定内容

SW01		終端抵抗	備考
ビット1	ビット1		
OFF	OFF	なし	工場出荷時、マルチとの混在 (リンク配線)
ON	OFF	100	カスタムのみで集中管理
OFF	ON	75	予備
ON	ON	43	予備

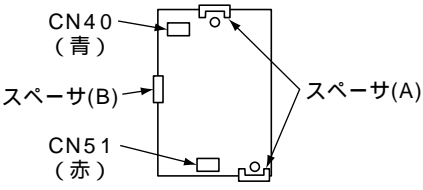
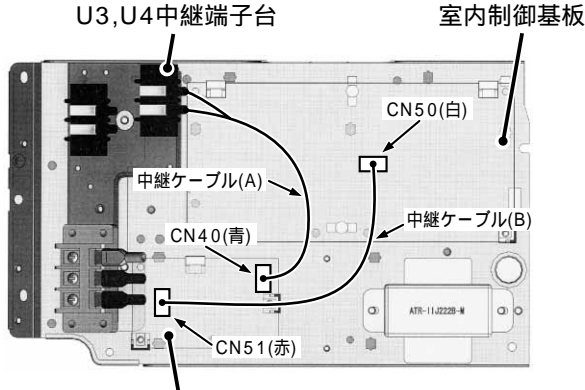
取り付け手順

TCC-LINKアダプタ基板の取付作業及び中継ケーブルの取りはずしは、必ずエアコンおよび集中管理機器の電源をOFFにして、しばらく（1分程度）してから行ってください。TCC-LINKアダプタ基板本体を破損するおそれがあります。

4 方向天力セ筐体の場合

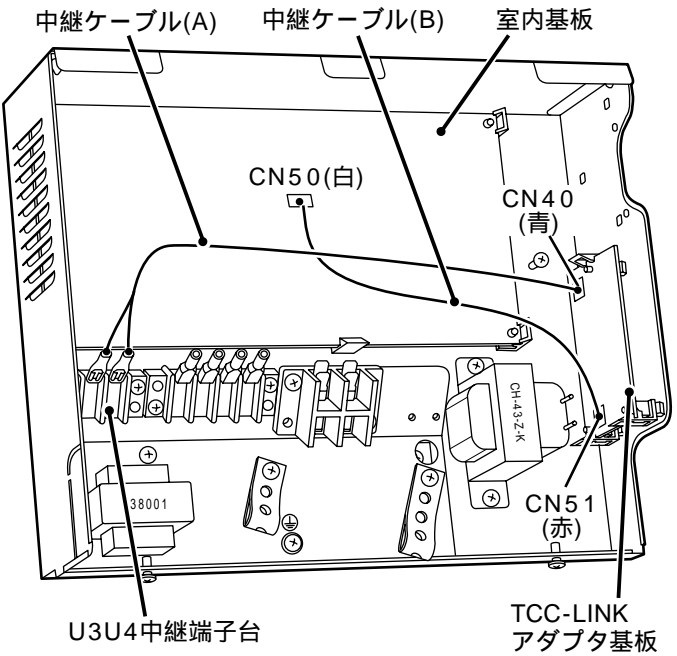
No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の図の位置にTCC-LINKアダプタ基板本体を基板取付スペーサ(A)にて取り付けます。	<p>別売TCC-LINKアダプタ TCB-PCNT30TL</p> <p>室内制御基板</p> <p>U3,U4中継端子台</p>
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にU3,U4中継端子台を端子台固定用ねじにて取り付けます。</p> <p>ねじを締めるとき、ケーブルをいためないように注意してください。</p> <p>中継端子台近傍に付属の銘板を貼り付けてください。</p>	<p>中継ケーブル(A)</p> <p>U3,U4端子台とTCC-LINKアダプタ基板CN40（青）を接続します。配線接続には極性がありません。</p> <p>中継ケーブル(B)</p> <p>室内制御基板CN50（白）とTCC-LINKアダプタ基板CN51（赤）を接続します。</p> <p>TCC-LINKアダプタ基板は、3個の基板取付スペーサ(A)を基板の穴に差し込み電気部品箱に取り付けます。</p>
3	<p>中継ケーブル(A)をU3,U4中継端子台からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN40(青)に配線します。</p> <p>中継ケーブル（B）を室内基板上のCN50（白）からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN51（赤）に配線します。</p>	<p>* 中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込み等がないように近くの配線にそわせて結束バンド固定してください。</p>

ビルトイン (AID-AP ** 1BHシリーズ) ・ 床サイド筐体の場合

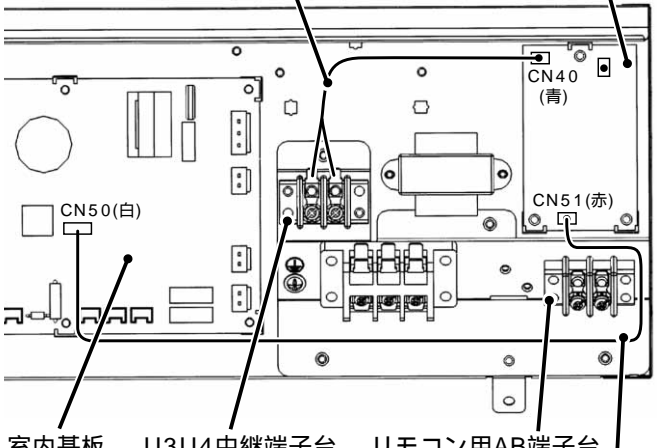
No.	手 順	詳 細
1	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にTCC-LINKアダプタ基板本体をスペーサにて取り付けます。</p> <p>基板固定用スペーサの取り付け位置</p> 	<p>別売TCC-LINKアダプタ TCB-PCNT30TL</p> 
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にU3,U4中継端子台を端子台固定用ねじにて取り付けます。</p> <p>ねじを締めるとき、ケーブルをいためないように注意してください。</p> <p>中継端子台近傍に付属の銘板を貼り付けてください。</p>	<p>中継ケーブル(A) U3,U4端子台とアダプタ基板CN40 (青) を接続します。 配線接続には極性がありません。</p> <p>中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50 (白) とTCC-LINKアダプタ基板CN51 (赤) を接続します。</p>
3	<p>中継ケーブル(A)をU3,U4中継端子台からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN40(青)に配線します。</p> <p>中継ケーブル (B) を室内基板上のCN50 (白) からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN51 (赤) に配線します。</p>	<p>* TCC-LINKアダプタ基板は2個の基板取付スペーサ(A)を基板の穴に差し込み (向って基板上と基板右下) 1個は基板を挟み込むタイプの基板取付スペーサ(B)を使って (基板左下) 電気部品箱に取り付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>* 中継ケーブル(A) ・ (B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込み等がないように近くの配線にそわせて結束バンド固定してください。</p> </div>

取り付け手順（つづき）

ビルトイン（AID-AP ** 1BH以外のシリーズ）筐体の場合

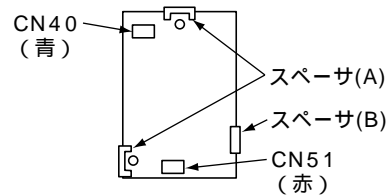
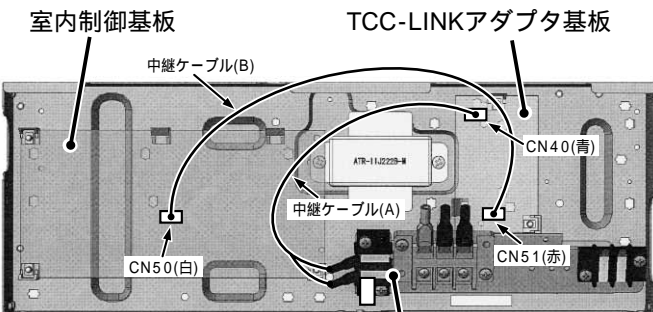
No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の図の位置にTCC-LINKアダプタ基板本体を基板取付スペーサ(A)にて取り付けます。	<p>別売TCC-LINKアダプタ TCB-PCNT30TL</p> 
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にU3,U4中継端子台を端子台固定用ねじにて取り付けます。</p> <p>ねじを締めるとき、ケーブルをいためないように注意してください。</p> <p>中継端子台近傍に付属の銘板を貼り付けてください。</p>	
3	<p>中継ケーブル(A)をU3,U4中継端子台からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN40(青)に配線します。</p> <p>中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN51(赤)に配線します。</p>	<p>中継ケーブル(A) U3,U4端子台とTCC-LINKアダプタ基板CN40(青)を接続します。配線接続には極性はありません。</p> <p>中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)とTCC-LINKアダプタ基板CN51(赤)を接続します。</p> <p>TCC-LINKアダプタ基板は、3個の基板取付スペーサ(A)を基板の穴に差し込み電気部品箱に取り付けます。</p> <div data-bbox="618 1435 1284 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>* 中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込み等がないように近くの配線にそわせて結束バンド固定してください。</p> </div>

1方向天力セ (AIU-AP**2SHシリーズ)・天吊り (AIC-AP**2H,AP**4Hシリーズ) 筐体の場合

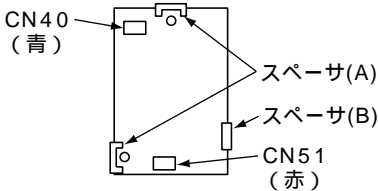
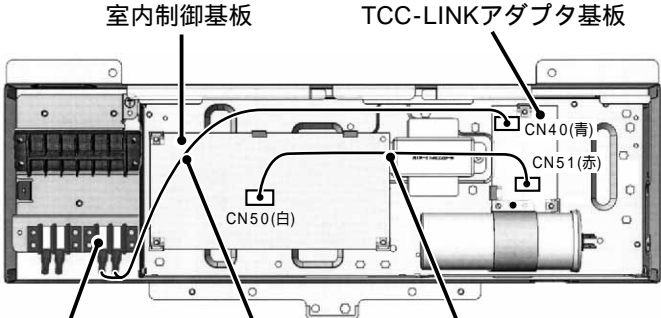
No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の図の位置にTCC-LINKアダプタ基板本体を基板取付スペーサ(A)にて取り付けます。	別売TCC-LINKアダプタ TCB-PCNT30TL 中継ケーブル(A) TCC-LINK アダプタ基板 CN40 (青)
2	室内ユニット電気部品箱の図の位置にU3,U4中継端子台を端子台固定用ねじにて取り付けます。 ねじを締めるとき、ケーブルをいためないように注意してください。 中継端子台近傍に付属の銘板を貼り付けてください。	 室内基板 U3U4中継端子台 リモコン用AB端子台 中継ケーブル(B)
3	中継ケーブル(A)をU3,U4中継端子台からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN40(青)に配線します。 中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN51(赤)に配線します。	中継ケーブル(A) U3,U4端子台とTCC-LINKアダプタ基板CN40 (青) を接続します。配線接続には極性はありません。 中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50 (白) とTCC-LINKアダプタ基板CN51 (赤) を接続します。 TCC-LINKアダプタ基板は、3個の基板取付スペーサ(A)を基板の穴に差し込み電気部品箱に取り付けます。 <div data-bbox="628 1335 1286 1445" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">* 中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込み等がないように近くの配線にそわせて結束バンド固定してください。</div>

取り付け手順（つづき）

1方向天力セ（AIU-AP**1SHシリーズ）・床スタンド筐体の場合

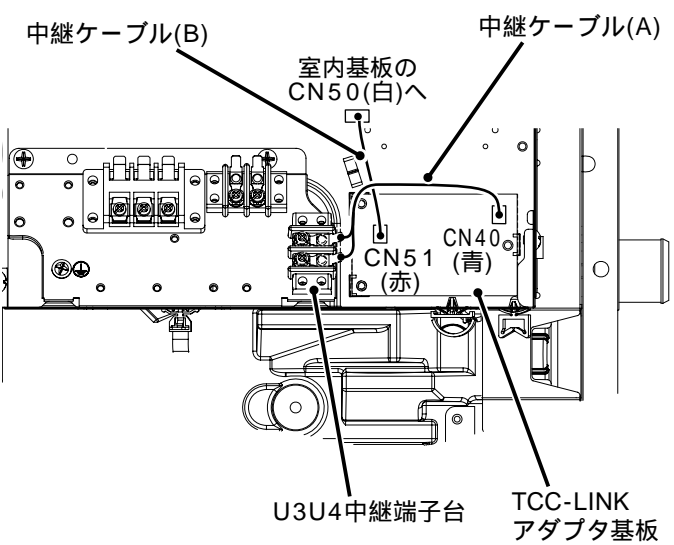
No.	手 順	詳 細
1	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にTCC-LINKアダプタ基板本体をスペーサにて取り付けます。</p> <p>基板固定用スペーサの取り付け位置</p> 	<p>別売TCC-LINKアダプタ TCB-PCNT30TL</p>  <p>U3,U4中継端子台</p>
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にU3,U4中継端子台を端子台固定用ねじにて取り付けます。</p> <p>ねじを締めるとき、ケーブルをいためないように注意してください。</p> <p>中継端子台近傍に付属の銘板を貼り付けてください。</p>	<p>中継ケーブル(A) U3,U4端子台とアダプタ基板CN40（青）を接続します。 配線接続には極性がありません。</p> <p>中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50（白）とTCC-LINKアダプタ基板CN51（赤）を接続します。</p>
3	<p>中継ケーブル(A)をU3,U4中継端子台からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN40(青)に配線します。</p> <p>中継ケーブル（白）を室内基板上のCN50（白）からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN51（赤）に配線します。</p>	<p>* TCC-LINKアダプタ基板は、2個の基板取付スペーサ(A)を基板の穴に差し込み（向って基板上と基板左下）、1個は基板を挟み込むタイプの基板取付スペーサ(B)を使って（基板右下）電気部品箱に取り付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>* 中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込み等がないように近くの配線にそわせて結束バンド固定してください。</p> </div>

2方向天カセ (AIU-AP**1WHシリーズ) 筐体の場合

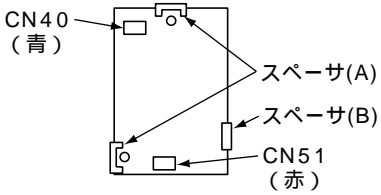
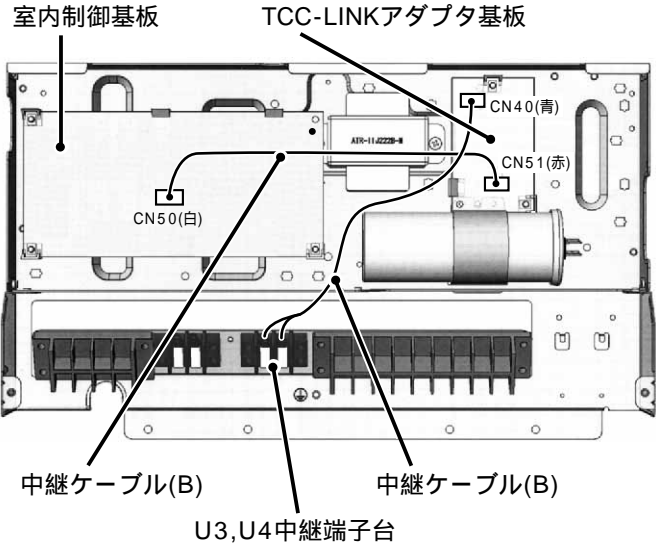
No.	手 順	詳 細
1	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にTCC-LINKアダプタ基板本体をスペーサにて取り付けます。</p> <p>基板固定用スペーサの取り付け位置</p> 	<p>別売TCC-LINKアダプタ TCB-PCNT30TL</p> 
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にU3,U4中継端子台を端子台固定用ねじにて取り付けます。</p> <p>ねじを締めるとき、ケーブルをいためないように注意してください。</p> <p>中継端子台近傍に付属の銘板を貼り付けてください。</p>	<p>U3,U4中継端子台 中継ケーブル(A) 中継ケーブル(B)</p> <p>中継ケーブル(A) U3,U4端子台とアダプタ基板CN40 (青) を接続します。 配線接続には極性がありません。</p> <p>中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50 (白) とTCC-LINKアダプタ基板CN51 (赤) を接続します。</p>
3	<p>中継ケーブル(A)をU3,U4中継端子台からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN40(青)に配線します。</p> <p>中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50 (白) からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN51 (赤) に配線します。</p>	<p>* TCC-LINKアダプタ基板は、2個の基板取付スペーサ(A)を基板の穴に差し込み (向って基板上と基板左下)、1個は基板を挟み込むタイプの基板取付スペーサ(B)を使って (基板右下) 電気部品箱に取り付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>* 中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込み等がないように近くの配線にそわせて結束バンド固定してください。</p> </div>

取り付け手順（つづき）

2方向天力セ（AIU-AP**1WH以外のシリーズ）筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	室内ユニット電気部品箱の図の位置にTCC-LINKアダプタ基板本体を基板取付スペーサ(A)にて取り付けます。	<p>別売TCC-LINKアダプタ TCB-PCNT30TL</p> 
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にU3,U4中継端子台を端子台固定用ねじにて取り付けます。</p> <p>ねじを締めるとき、ケーブルをいためないように注意してください。</p> <p>中継端子台近傍に付属の銘板を貼り付けてください。</p>	
3	<p>中継ケーブル(A)をU3,U4中継端子台からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN40(青)に配線します。</p> <p>中継ケーブル(B)を室内基板上のCN50(白)からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN51(赤)に配線します。</p>	<p>中継ケーブル(A) U3,U4端子台とTCC-LINKアダプタ基板CN40(青)を接続します。配線接続には極性はありません。</p> <p>中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50(白)とTCC-LINKアダプタ基板CN51(赤)を接続します。</p> <p>TCC-LINKアダプタ基板は、3個の基板取付スペーサ(A)を基板の穴に差し込み電気部品箱に取り付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>* 中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込み等がないように近くの配線にそわせて結束バンド固定してください。</p> </div>

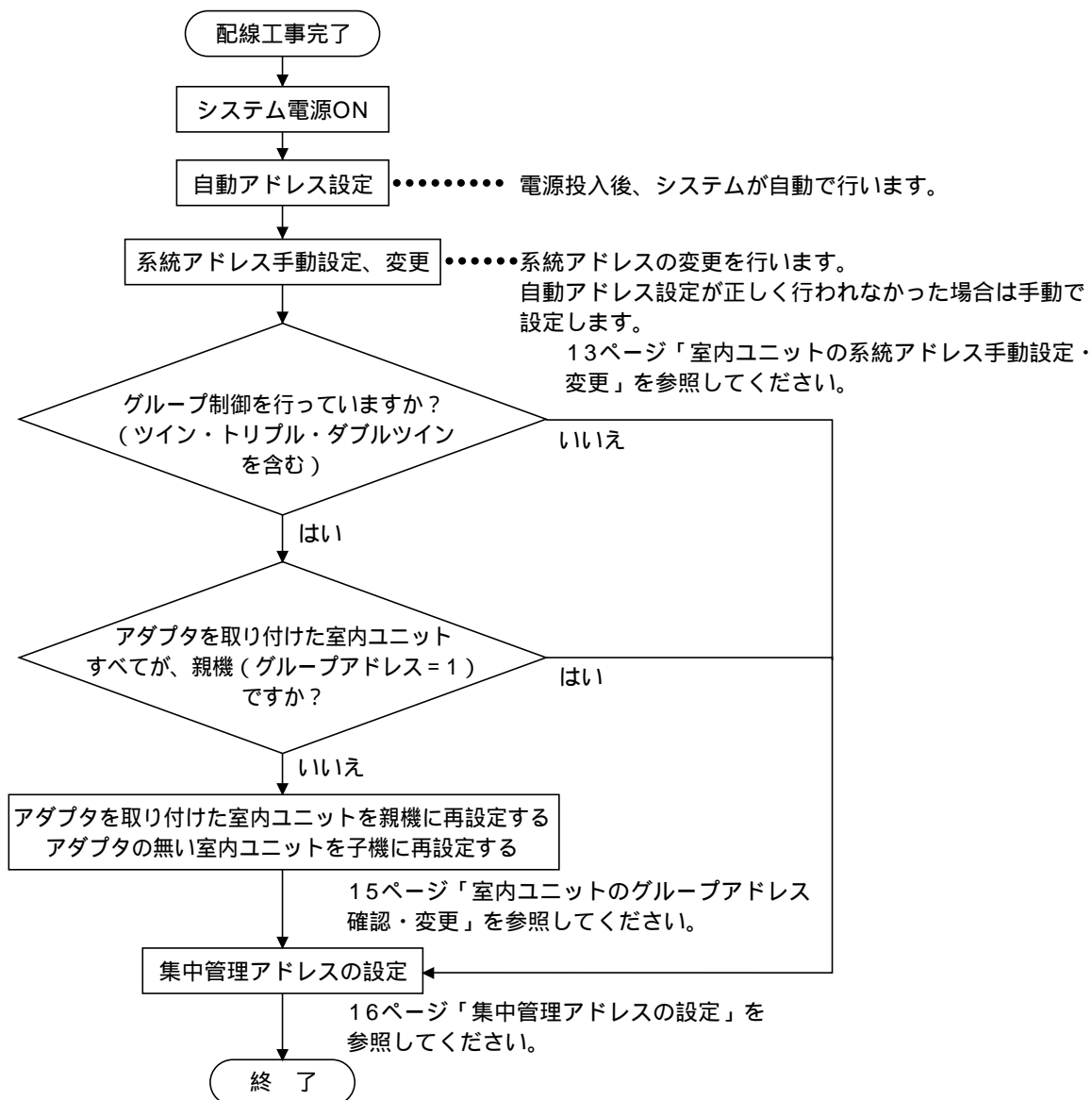
ダクト筐体の場合

No.	手 順	詳 細
1	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にTCC-LINKアダプタ基板本体をスペーサにて取り付けます。</p> <p>基板固定用スペーサの取り付け位置</p>  <p>スペース(A) スペース(B) CN40 (青) CN51 (赤)</p>	<p>別売TCC-LINKアダプタ TCB-PCNT30TL</p>  <p>室内制御基板 TCC-LINKアダプタ基板 CN40(青) CN50(白) CN51(赤) 中継ケーブル(B) U3,U4中継端子台</p>
2	<p>室内ユニット電気部品箱の図の位置にU3,U4中継端子台を端子台固定用ねじにて取り付けます。</p> <p>ねじを締める時、ケーブルをいためないように注意してください。</p> <p>中継端子台近傍に付属の銘板を貼り付けてください。</p>	<p>中継ケーブル(A) U3,U4端子台とアダプタ基板CN40 (青) を接続します。配線接続には極性はありません。</p> <p>中継ケーブル(B) 室内制御基板CN50 (白) とTCC-LINKアダプタ基板CN51 (赤) を接続します。</p>
3	<p>中継ケーブル(A)をU3,U4中継端子台からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN40(青)に配線します。</p> <p>中継ケーブル (B) を室内基板上のCN50 (白) からTCC-LINKアダプタ基板本体のCN51 (赤) に配線します。</p>	<p>* TCC-LINKアダプタ基板は、2個の基板取付スペーサ(A)を基板の穴に差し込み (向って基板上と基板右下)、1個は基板を挟み込むタイプの基板取付スペーサ(B)を使って (基板左下) 電気部品箱に取り付けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>* 中継ケーブル(A)・(B)の配線接続後、ケーブルのはさみ込み等がないように近くの配線にそわせて結束バンド固定してください。</p> </div>

アドレスの設定

概要

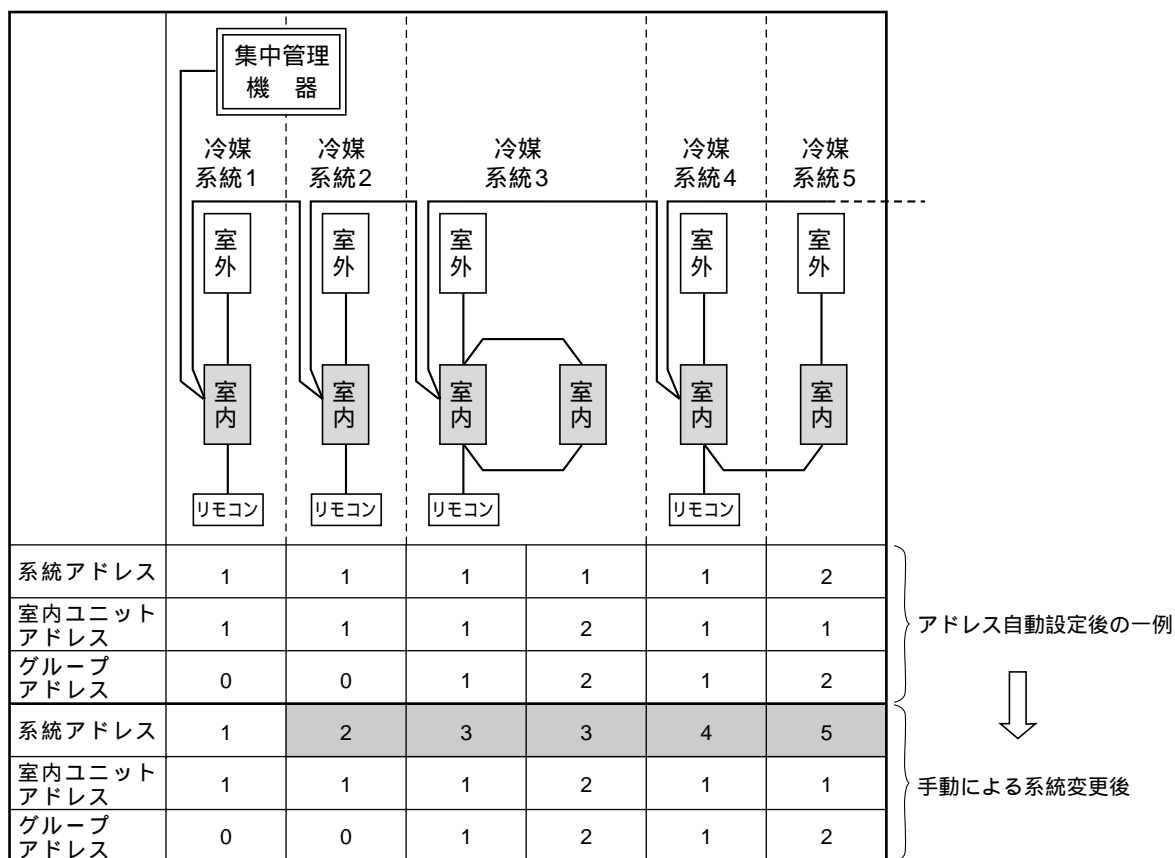
本製品を用いてTCC-LINK集中管理系へカスタムエアコンを接続し、集中管理する場合には下記の手順で各接続室内ユニットのアドレス設定を行います。



室内ユニットの系統アドレス手動設定・変更（その1）

[冷媒系統29系統以下の場合（マルチと混在時はマルチ側の冷媒系統数も含みます）]

システム電源投入後のアドレス自動設定により、系統アドレスがグループ制御を除きすべて“ 1 ”に割り付けられますので冷媒系統ごとに、系統アドレスをワイヤードリモコンにて変更設定します。



*ワイヤードリモコンによる変更、設定方法は17ページの「アドレス設定変更方法」を参照してください。

*系統アドレスは冷媒系統ごとに異なる数値とし、他の冷媒系統と重複しないように設定してください。

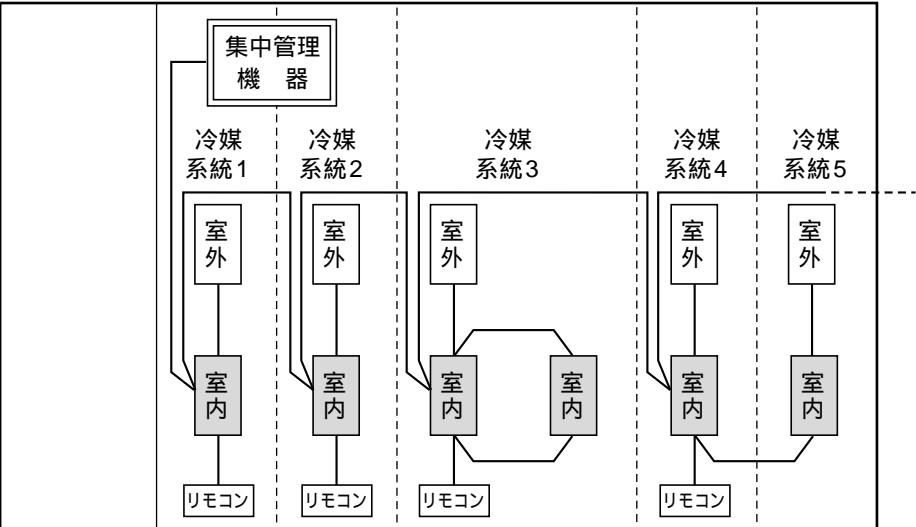
（マルチとカスタムを混在させて集中管理する場合には、マルチ側の系統アドレスとも異なる数値にしてください）

アドレスの設定（つづき）

室内ユニットの系統アドレス手動設定・変更（その2）

[冷媒系統30系統以上の場合（マルチと混在時はマルチ側の冷媒系統数も含みます）]

システム電源投入後のアドレス自動設定により、系統アドレスがグループ制御を除きすべて“ 1 ”に割り付けられますので冷媒系統ごとに、系統アドレスをワイヤードリモコンにて変更設定します。

						
系統アドレス	1	1	1	1	1	2
室内ユニットアドレス	1	1	1	2	1	1
グループアドレス	0	0	1	2	1	2
系統アドレス	1 30	1 30	1 30	1 30	1 30	1 30
室内ユニットアドレス	1	1 2	1 3	1 4	1 5	1
グループアドレス	0	0	1	2	1	2

アドレス自動設定後の一例

↓

手動による系統変更後

- * ワイヤードリモコンによる変更、設定方法は17ページの「アドレス設定変更方法」を参照してください。
- * 系統アドレスは冷媒系統ごとに異なる数値とし、他の冷媒系統と重複しないように設定してください。
（マルチとカスタムを混在させて集中管理する場合には、マルチ側の系統アドレスとも異なる数値にしてください）

室内ユニットのグループアドレス確認・変更

グループ運転、ツイン・トリプル運転の場合、システム電源投入後のアドレス自動設定により、室内ユニットにグループアドレスが割り付けられ、そのアドレスによって「親機」「1」、「子機」「2」と認識されます。また、集中管理機器は各グループ内の「親機」とのみ通信を行うため、アダプタを取り付けた室内ユニットが「親機」になるようにグループアドレスをワイヤードリモコンにて設定します。

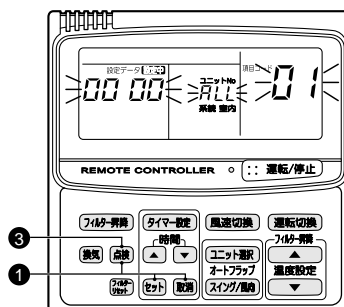
親機の確認方法

事前にアダプタが取り付けられている室内ユニットを確認してください。
停止中に行ってください。

手順

- ① **セット** + **取消** + **点検** ボタンを同時に4秒以上押します。

(最初に表示されるユニットNo.がグループ制御の親機の室内ユニットNo.です)



- ② ファンがONした室内ユニットが親機です。

アダプタを取り付けた室内ユニットと異なる場合は「親機の設定方法」により変更してください。

- ③ **点検** ボタンを押すと通常モードに戻ります。

親機の設定方法 (ファンがONした室内ユニットとアダプタを取り付けたユニットが違う場合)

下記手順でアドレスの変更をしてください。

手順

- ① **セット** + **取消** + **点検** ボタンを同時に4秒以上押します。

(最初に表示されるユニットNo.がグループ制御の親機の室内ユニットNo.です)

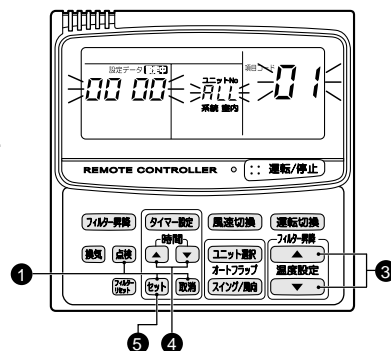
- ② ファンがONした室内ユニットが親機です。

- ③ 設定温度 **▲** **▼** ボタンで項目コードを“14”を選択。

- ④ 設定データが0001になっていることを確認し、タイマー時間 **▲** **▼** ボタンで設定データを0002に変更する。

- ⑤ **セット** ボタンを押します。このとき、表示が点滅から点灯になれば設定終了です。

(つづく)





アドレスの設定（つづき）

（つづき）

- ⑥ **ユニット選択** ボタンを押し、アダプタが取り付けられている室内ユニットのファンをONにします。

- ⑦ 項目コードはそのまま（項目コード14を選択）

- ⑧ 設定データが0002になっていることを確認し、タイマー時間   で設定データを0001に変更する。

- ⑨ **セット** ボタンを押します。このとき、表示が点滅から点灯になれば設定終了です。

- ⑩ 上記設定が終了したら、**ユニット選択** ボタンを押して設定変更した室内ユニットを選択し、変更内容を確認してください。（項目コード14のまま）

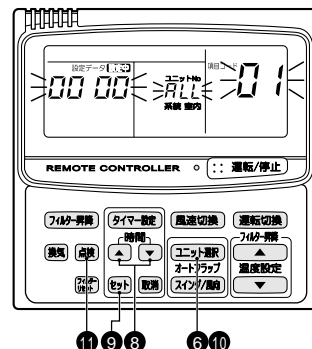
* **取消** ボタンを押すと、今まで設定した内容をクリアできます。（この場合は手順①からやり直しとなります）
注）項目コードを変更すると取消できません。

- ⑪ **点検** ボタンを押します。（設定が確定）

点検ボタンを押すと表示が消え、通常停止状態となります。

（点検ボタンを押した後、約1分間はリモコン操作を受け付けません）

* 点検ボタンを押した後、1分以上経過してもリモコン操作を受け付けない場合はアドレス設定が誤っていることが考えられ、再度自動アドレス設定を行っていますので、約5分後に設定変更をやり直してください。



集中管理アドレスの設定

詳細は64系統集中コントローラー据付説明書を参照してください。

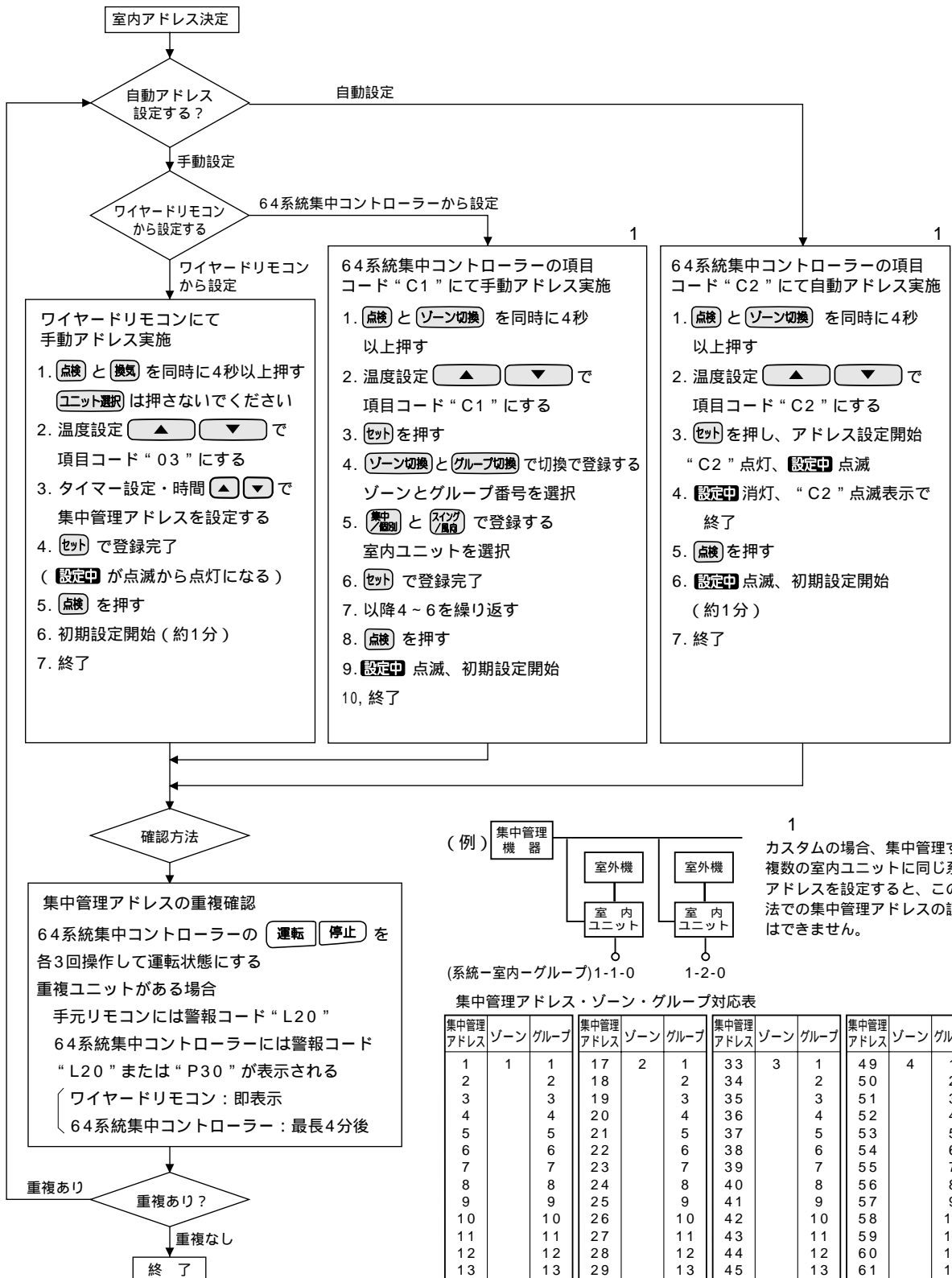
- 1) アドレス設定は下記3通りがあります。

ワイヤードリモコンからの手動設定

64系統集中コントローラーからの手動設定

64系統集中コントローラーからの自動設定

- 2) グループ制御時はグループ親機に集中管理アドレスを設定します。



アドレスの設定 (つづき)

アドレス設定変更方法

手順

- ① **セット** + **取消** + **点検** ボタンを同時に 4 秒以上押します。

液晶が点滅に変わります。(最初に表示されるユニットNo.はグループ制御の親機の室内ユニットNo.です)



- ② グループ制御の場合は、**ユニット選択** ボタンで変更したい

室内ユニットNo.を選択します。(選択した室内ユニットのファンがONします)



系統アドレス

- ③ 設定温度 **▲** **▼** ボタンで項目コードを“12”にします。

- ④ タイマー時間 **▲** **▼** ボタンで系統アドレスを設定します。



- ⑤ **セット** ボタンを押します。(表示点灯でOK)



室内ユニットアドレス

- ⑥ 設定温度 **▲** **▼** ボタンで項目コードを“13”にします。



- ⑦ タイマー時間 **▲** **▼** ボタンで室内ユニットのアドレスを設定します。



- ⑧ **セット** ボタンを押します。(表示点灯でOK)

グループアドレス

- ⑨ 設定温度 **▲** **▼** ボタンで項目コードを“14”にします。



- ⑩ タイマー時間 **▲** **▼** ボタンで個別 = 0000、親機 = 0001、

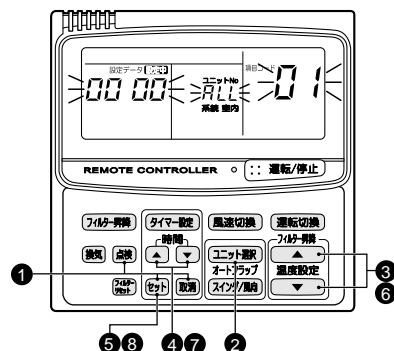
子機 = 0002にします。



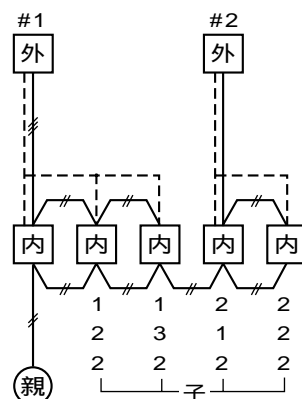
- ⑪ **セット** ボタンを押します。(表示点灯でOK)



(右側へつづく)



2 系統の配線例



系統アドレス 1
室内ユニットアドレス 1
グループアドレス 1

グループアドレス	
個別: 0000	} グループ制御の場合
親機: 0001	
子機: 0002	

- ⑫ **ユニット選択** ボタンで次に変更したい室内ユニットNo.を選択します。

③ ~ ⑫ を繰り返して、アドレスが重複しないように変更します。↓

- ⑬ 上記変更を行った後、**ユニット選択** ボタンを押して変更内容を確認してください。



- ⑭ OKであれば**点検** ボタンを押します。設定完了

アドレス重複時の警報コード

	手 順	警報コード
ケース 1	<p>系統アドレスが重複しているとき</p> <p>系統 1</p> <p>系統 2</p> <p>TCC-LINK 集中管理機器</p> <p>室外</p> <p>室内</p> <p>リモコン</p> <p>系統アドレス : 1 室内アドレス : 1 グループアドレス : 0 集中管理 アドレス : 1</p> <p>系統アドレス : 1 室内アドレス : 1 グループアドレス : 0 集中管理 アドレス : 2</p>	<p>ワイヤードリモコン側</p> <p>系統 1 : E08</p> <p>系統 2 : E08</p> <p>64系統集中コントローラー側</p> <p>系統 1 または系統 2 に E08</p>
ケース 2	<p>集中管理アドレスが重複しているとき（系統 1, 2 とも運転時）</p> <p>系統 1</p> <p>系統 2</p> <p>TCC-LINK 集中管理機器</p> <p>室外</p> <p>室内</p> <p>リモコン</p> <p>系統アドレス : 1 室内アドレス : 1 グループアドレス : 0 集中管理 アドレス : 1</p> <p>系統アドレス : 2 室内アドレス : 1 グループアドレス : 0 集中管理 アドレス : 1</p>	<p>ワイヤードリモコン側</p> <p>系統 1 : L20</p> <p>系統 2 : L20</p> <p>64系統集中コントローラー側</p> <p>系統 1 または系統 2 に L20</p>
ケース 3	<p>ケース 2 で手元リモコンから片側の系統 2 のみ運転時行い、 集中管理アドレス重複を検出したとき</p> <p>系統 1 : 停止中</p> <p>系統 2 : 運転中（集中管理アドレス重複を検出）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>系統 1 : 停止中でも警報コードが出ます。 系統 2 : 集中側には警報が出ません。 （ワイヤードリモコンには警報表示あり）</p> </div>	<p>ワイヤードリモコン側</p> <p>系統 1 : 警報なし</p> <p>系統 2 : L20</p> <p>64系統集中コントローラー側</p> <p>系統 1 : 警報なし</p> <p>系統 2 : L20</p> <p>または</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>系統 1 : P30</p> <p>系統 2 : 警報なし</p> </div>

使用方法

集中管理機器（TCB-SC642TL, TCB-CC163TL）の取扱説明書をご覧ください。

その他注意事項

グループ運転の場合、グループ制御内の全室内ユニットの電源を必ず入れてください。（3分以内）

親機に電源が入っていない場合は、親機が子機に入れ換わる可能性があります。

（親機が換わると集中管理ができません）

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

SN:EH99755901-